

学校運営協議会 議事録

校名	府立だいせん聴覚高等支援学校
校長名	藤田 太朗

開催日時	令和7年2月13日(木)
開催場所	だいせん聴覚高等支援学校 大会議室
出席者(委員)	植田紀美子 委員、澁谷栄作 委員、落合聖司 委員、前田浩 委員、井上洋 委員、山崎明美 委員
出席者(学校)	校長、教頭、首席2名、部主事、進路指導部主任、教務部主任 生活指導部長、事務長
傍聴者	なし
協議資料	令和7年度 学校経営計画 他
備考	

議題等(次第順)	
1 開会挨拶	2 協議
3 保護者からの意見書について	4 その他【事務局】
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
各委員からのご意見	
3 協議	
1) 進路状況報告【進路】 特になし	
2) 学校教育自己診断結果【首席】 ・災害関連の生徒評価が減少した点について、昨年度できなかった有志による災害ボランティア(能登)により、被災状況をより具体的にイメージし、意識が高まったのではないかと考える。 ・「学校が楽しい」という生徒の評価が非常に高くすばらしい。特に学校は生徒が楽しく通えることが大事なので、年々上昇しているのは大切なことだと考える。	
3) 令和6年度学校経営計画 総括【校長】 ・図書室の利用率について、聴覚障がい者は特に文章力が必要になるので、読書をぜひ推し進めてほしい。 ・生徒が自ら将来を考えて、自分から学ぶというのは素晴らしい。教科間連携を進めて、より効率的に学べる仕組みになればよい。	
4) 令和7年度学校経営計画【校長】 ・昨年度から大きく変更し、めざす学校像という一番大事な部分や、中期的目標も優先順位も変わっている。これまでの目標をなじみのあるフレーズに置き換えて、教員がより目標を意識して教育活動に取り組むように構成した。 ・評価指標を意図的に計数評価していると考えられるが、単純に実施回数の達成のみで評価してもよくはない。数値による達成度に対し、実施してどうだったかという部分も大切にしていきたい。 ・生徒の自立を推し進めたいということが、よくわかった。 ・各教員が運用しやすそうで、計画に沿った教育活動を実施できると思われる。評価については、教科や分掌を超えて相互連携ができればよい。	
学校経営計画について、承認	
4 保護者からの意見書について【事務局】 ・意見書の提出はなし	

次回の会議日程	
日時	令和7年5月19日(木)10:00~
会場	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校 大会議室